

もみじ福祉会 2014年度事業報告

はじめに

まず今年度の大きな出来事として、もみじ福祉会開設期から常に先頭に立って引っ張って来られた浜崎前理事長の突然のご逝去とそれに伴う理事長交代があげられます。また、法人監査において指摘されていた欠席の多い理事・評議員への対策の一つとして、理事改選時期における定員削減を行いました。

そして、昨年残念な結果となった5つ目のグループホームの土地貸与が正式に決まり、国庫補助の広島市分も市議会で採択され、国に向けての申請を今年度中に行うこととなりました。5つ目のグループホームへ期待が大きかっただけに大きな前進をみる事ができて良かったと思います。

昨年の実施予定であった常勤準職員の全員正職員化については、労働組合からの「正職化後も毎年昇給できる運営見通しを」等の提起を受けとめ、1年間管理運営会議や労使定期協議を重ね、赤字事業の見直し等を検討してきました。まだ解決すべき課題は残るものの本年7月には実施する予定です。

第三もみじ作業所は就労移行事業の積極的な利用者の確保の取り組みを行いました。目的は達成できず、協議の結果3月を持って廃止の方向を打ち出しました。障害者生活支援センターめーぷるについては、基幹相談の受託、計画相談の件数増などを図り、赤字削減に一定の見通しをもつことができました。

しかし、来年度の国の概算予算をみると基本報酬の増加はなく、新たな加算の創設で±0とはいうものの実質マイナスの厳しい報酬改定が示されており、今後とも運営改善への努力が求められています。

【重点課題】

1. 将来構想第四期5カ年計画(2013年~2017年)の作成と推進を行います。

5カ年計画の課題

1) 5つ目のグループホームづくり

広島市より段原の土地に代わる用地として年明けに吉島西(もみじ作業所の隣地)の土地照会がありました。長年要望をしていた土地ではありましたが、もみじ福祉会単独利用とはいかず、もみじ福祉会とアイラブ作業所の2か所が申請をしていた為、年度前半はアイラブ作業所と土地分割の調整の協議を重ねてきました。紆余曲折を経ながら広島市の調整もあってもみじ福祉会55%アイラブ作業所45%の分割で決定しました。

9月に広島市に申請書をあげ、3月の市議会にて国庫補助の広島市負担分の予算がつくことが決定し、現在2016年4月開所に向けて国庫補助申請の準備と利用者の選考について協議を行っているところです。

当初の25名の希望者をできるだけ受け入れられるようにと2つのグループホームの申請をし広島市と交渉してきました。その結果、夢トピアのような1階福祉ホーム、2階グループホーム、3階にその他の事業(めーぷる事務所の移動、ヘルパーステーションの分室、緊急時避難スペースの創設など)という多機能の事業を行う施設として申請を上げています。

2) グループホームの運営と体制の充実

①土・日の開所(365日開所)に向けての体制づくり

グループホーム利用者の高齢化、家族の高齢化による介護力の低下などで、365日対応がますます大きな課題となってきました。職員の確保が厳しく未だ完全実施には至っていませんが、対応できるところは最大限努力してきました。

今年度も職員確保に向けて求人申し込みを早めたり、合同説明会や新卒者確保のための大学案内などに積極的に参加しました。福祉会全体では2名の新卒者内定を含め10名の職員を採用することができました。あと4名のグループホーム職員等の確保をめざしていますが、そのためにも、来年度7月から実施する常勤準職員の正職化や雇用条件の改善等、引き続き職員確保の条件整備に努めていきます。

②つばさ、たんぼぼの移転問題

つばさの大家さんから土地売却の約束を交わしながら、その後進捗をみるに至っていません。5つ目のケアホームの創設に続くつばさの建て替えがグループホーム希望者25名の受け入れを考える上での必要条件となってきたため、今後早急に具体化の検討を行うことが求められています。また、たんぼぼも個室化されていないことが終の棲みかとして考えにくいとの家族からの声もあり、移転についての検討が課題となっています。

3) 重度身体障害のある人の日中活動の場(生活介護事業)づくり

吉島西(もみじ作業所の隣接)の土地を単独で借りることができれば、日中活動の場の確保も同時に着手できると広島市と交渉を重ねてきましたが、残念ながら実を結ぶことはできませんでした。引き続き、重度障害者の日中活動の場の用地を広島市に求めていきます。

4) 児童ディサービスの開所

将来構想検討委員会でも5つ目のグループホームの創設が緊急の課題となり、また創設に向けて具体化が進んできた為、児童ディサービスについて検討することができませんでした。

2. 高齢化に伴う課題をより明確にしつつ、取り組みを進めます。

将来構想検討委員会の小委員会でアンケートが実施された他、各委員会において課題整理が行われているところです。来年度は多岐にわたる課題をどう整理し具体化していくかが求められています。

3. 職員の資質の向上と人材育成に取り組みます。総合的な研修システムを引き続き検討し、職員の資質の向上に取り組みます。

今年度も障害者情勢をはじめ、発達学習やケース会議、救急法の学習などいろいろな研修を行い、人材育成に取り組んできました。しかし、研究システムについての検討は残念ながら行うことができず、検討課題であった中堅、管理者の要綱づくりなどが手つかずのままとなってしまいました。

新任職員研修は、要綱に沿って実施することができましたが、年間予定を変更することもあり、日程の確立や内容についてもさらに充実を図ることが求められました。

4. 拡大する事業にふさわしい組織機構づくりに取り組みます。

来年度にむけて管理部体制や職員体制のあり方について検討してきました。理事長の交代や理事会の定員削減、一部ではありますが管理者体制や職員体制の再編を行ってきました。

今後とも、財政問題、人材確保、計画的な世代交代等を改善・推進できる組織機構作りが求められています。

5. 「障害のある人が安心して暮らせる社会づくり」にむけて引き続き、他機関と連携しながら運動・実践を大切に取り組みます。

今年度もきょうされん、広障連、HDF(広島障害フォーラム)、移動支援事業者連絡会などと連携し、対県、対市への要望活動や8月にあった土砂災害の検証活動などに積極的に参加し、運動の一翼を担ってきました。しかし地域福祉推進委員会の定例化が不十分であり、また各団体の事務局をもみじ作業所で担っているが必ずしも十分な連携が取れていたとは言えません。今後とも他機関と連携しながら積極的に運動(学習運動を含めた)に参加すること、職員にその意識を浸透させる工夫が必要となっています。

【もみじ福祉社会のめざすものの実現に向けて】

I. 利用者の生きる力の獲得、生活の質の向上にむけて

1. 豊かな労働・日中活動づくり

①利用者の障害や発達段階に見合った作業種目・作業行程および活動内容の研究開発

*3年目を迎えたせんべいグループはS1サミット2014でも最優秀賞を受賞し、2年連続受賞となり仲間、職員の大きな励みとなりました。また、リサイクルグループもJKAからの補助を受けて2トン車を購入し、仕事の効率や仲間の好きな資源回収へでかける機会を増やすことができました。さをり織りグループののテントート、企画グループのTシャツやカレンダー作りと、これら仲間一人ひとりの仕事への意欲や力量アップを図る取り組みは、今後も継続して取り組みます。

②賃金アップをめざし、また、働くことの意味や本人のがんばりが反映できるような適切な工賃体系の研究

*労働部で検討していますが、今年度は改訂しませんでした。

③看護師や作業療法士と連携した利用者の健康推進、及び重度障害を抱える利用者の二次障害予防のための研究・実践

*昨年度と同様に健康推進部を中心に、必要な仲間のバイタルチェックや全員の体重測定など、日常の健康状態の把握や指導を引き続き行うとともに、成人病対策として月1回スポーツ指導員の指導を得ながらプールの活動を行いました。二次障害予防では山田理学療法士から、車いすや作業姿勢の改善、運動など、個々の相談・指導の援助を受けています。また、グループホームにおいても医療連携加算を取得し、看護師による支援を開始しました。日常の健康管理はもちろん、夜間の緊急時の対応等に相談に乗ってもらえる安心感は職員の負担軽減となっています。

④自立心や自立意識を育てていく立場に立った自治会活動の充実

*今年度も定例会議や所長交渉、生活委員、広報委員などの活動、虹の会の活動参加など、担当職員の支

援を受けながら取り組みの充実を図りました。

⑤社会経験を広げていく場として、また、レクレーションの場としての各種行事の実施

*生活部を中心に仲間が主体者として取り組むことを大切にして、ややもすると職員中心になりつつあることに気をつけて活発に行って来ました。ただ、利用者数の増加や重度化に伴い、職員だけの支援では行事が行いにくくなってきています。

特に外出を伴う行事は、足の確保やボランティアが一層必要となり、行事のやり方については、グループに分かれての実施などの工夫が求められて来ています。

⑥文化活動・クラブ活動の定着・充実

*今年も年7回クラブの活動の取り組みをボランティアの力も借りながら取り組みました。年々ボランティアの確保がしにくくなり、活動内容の変更やグループ数の削減等が求められました。

⑦地域の要求と連携しつつ、新たな日中活動の場づくりの取り組み。

*第1、第2もみじ作業所のミニミニバザールや第3もみじの作業所の配食拡大、こねこね工房の集客アップに向けてのイベント等を行い、少しずつ取り組みを発展させてきていますが、今後とも継続して検討する必要があります。

2. 豊かな生活・暮らしの場づくり

①「合築ホーム夢トピア」の運営の安定と支援の充実

*365日体制への移行と豊かな生活の場の保障として、一層の生活支援員の確保と充実、勤務のあり方等の検討が求められています。また、利用者の高齢化・重度化に伴って年々医療機関の利用が増大しており、今年度は看護師の一定の支援を図ることができましたが、更なる医療との連携が求められています。

②「グループホームたんぼぼ」・「グループホームつばさ」の移転の検討、運営の安定と支援の充実

*つばさの職員を3人体制とし、土・日開所は作業所やヘルパーステーションの職員の協力を得ながら取り組んできましたが、利用者の支援における1人職場の課題も浮き彫りとなり、今後ますます期待されるグループホームづくりにおいて、グループホームの規模や利用者の構成についても検討が必要となって来ました。

また、つばさの1名利用がないままの状況についても打開策を講じることもできませんでした。

たんぼぼの体験入所事業の利用期間終了者は私的契約による利用継続を希望され、取り組みの評価を頂きましたが、欠員解消に見合う報酬とはならず、今後の継続の有無を検討する必要があります。

移転問題に伴うつばさの建て替えは、進捗を見ることはできませんでしたが、5つ目のグループホームづくりと併せて将来構想検討委員会でも重要な課題として検討をしてきました。

③「ドリームハウス」の運営の安定と支援の充実

*食事作り、余暇活動の取り組みなど独自性を持った取り組みも定着し、豊かな生活の場として支援の充実に向けて取り組みました。また、ショートスティ利用者の契約者も増加し、ほぼ満床状態となっています。

④「もみじヘルパーステーション夢トピア」、「障害者生活支援センターめーぷる」による生活支援の充実

*2年連続、ヘルパーステーションの現地指導が行われ、指摘を受けた事案については速やかに改善にむけて努力しましたが、今後の運動で制度改善を求めていく事案もありました。365日体制に向けてのグループホーム開所にも、積極的に支援しました。人材育成としての研修会は定例化を図りました。

支援員の拡充や常勤ヘルパー職員の増については、男性は充足することができましたが、女性の支援者の拡充は図ることができませんでした。

*サービ利用計画との実施が制度化され、また、基幹相談も受託し「めーぷる」の果たす役割がますます大きくなりました。今後それに伴う職員増や福祉社会との連携が大きく問われます。

⑤「もみじの家」の有効活用

*生活自立訓練事業を休止した為、有効な活用はされませんでした。

II. 地域に根ざし、地域の障害者・関係者の福祉的ニーズに応える法人

づくり

1. 地域に根ざした作業所・ホームづくり

①広報活動の充実

- ・もみじ福祉会ニュース「がんばろうや」の内容の充実ときめ細やかな地域配布への取り組み
 - *年3回の発行が定着し、福祉の動向はじめ多彩な記事づくりで内容の充実に努め、また6町内会への配布にあたっては地域との関係維持の大切な機会としても位置づけ、各町内会長を訪問して町内への回覧依頼を行いました。
- ・ウェブサイトの一層の充実
 - *ウェブサイトのリニューアルを検討し、業者選定も行き、検討を重ねてきましたが、今年度中の実施に至ることはできませんでした。できるだけ早い実施に向けて取り組みを進めているところです。

②もみじ福祉会のもつ施設・設備・情報・人材の地域における福祉的ニーズへの開放

- *今年度も社会福祉士や介護福祉士の資格取得のための実習、教員免許取得実習、刑務官の実習、小・中学校からの職場体験実習やボランティア体験学習などなど、実習依頼は積極的に受け入れてきました。また、やさしさ発見プログラムの小・中学校の車いす体験学習やガイドヘルパー養成講座の講師依頼などにも積極的に応え、もみじ福祉会の社会資源としての役割を果たすことができました。

③地域・町内会行事等への参加や共同企画の推進

- ・作業所まつり、夢フェスティバルの実施など
 - *作業所まつりや夢フェスティバルは地域の女性会や民生委員等の参加も得て実行委員会を組織して地域のまつりとして定着してきました。
 - *もみじ作業所では町内の行事（飯ごう炊爨、とんど祭り、盆踊りなど）に積極的に参加し、要請に応じて物も人も協力しました。
夢トピア、ドリームハウス、第三もみじ作業所でも、とんど祭りや盆踊り、秋祭りところらも地域行事に積極的に参加しました。

2. 地域の障害者・家族への支援と諸要求実現に向けて

①地域の諸団体との協力・共同の推進、関係機関への働きかけ、

- *きょうされんの加盟団体として、広障連やHDF、重度医療無料化連絡会などと連携して、学習会や運動にも積極的に参加し、最新の情報の提供にも努めました。広島市の実地指導や移動支援事業における実態と乖離した指導には、共同して改善を求める運動を展開し、一定の成果を上げることができました。

②「障害者生活支援センターめーぶる」の障害者自立支援活動の推進

- *障害種別・年齢層など多様な相談や願いに応え相談ケースも8500件を超え、就労支援、一人暮らし、生活や教育支援の問題にも積極的に取り組み、相談機関として大きな役割をはたしています。また広島市の自立支援協議会やコーディネーター会議、特別支援学校の地域ネットワーク会議などの関係機関との連携にも引き続き役割を果たしてきました。「ものづくり&夢づくり」「いきいき教室」「自立の会」などめーぶる独自の活動にも力を入れ、充実した取り組みが行われてきました。
また、基幹相談の受託、平成27年度より必須となるサービス利用計画の作成とますます役割が広がり、もみじ福祉会利用者の計画作成はもとより、より大きな責任を持つこととなりました。

③「もみじヘルパーステーション夢トピア」による在宅障害者への介護サービスの拡充

- *居宅介護・移動支援のニーズは、外部はもちろん、もみじ作業所利用者の家族の高齢化や家族の介護力の低下によって、年々増え続けています。ヘルパーの人材難から断るケースは今年度も続いており、人材確保が継続課題となっています。
また、2年連続の実地指導によって改善点については速やかな実施をするとともに、改善されたと思っていた移動支援の「中抜き」問題などは、再度HDFや「移動支援事業所連絡会」の改善を求める運動に積極的に関わり、障害のある人の社会参加の拡大、充実に努めました。

④「短期入所事業」の実施による在宅障害者・家族へのサービスの拡充

- *今年度さらに家族の入院等による緊急利用の要望や、これまで受け入れをしていなかった土日利用の要望も増え、他事業所との連携をとりながら積極的に受け入れました。それでも今年度も断るケースが出ました。

⑤訪問介護員養成研修事業や福祉講座等の継続による福祉人材の育成や貢献

*今年度はガイドヘルパー養成講座を行うことができませんでした。

⑥障害をもった児童・生徒のニーズの把握と支援体制づくり

・広島県立広島特別支援学校、広島県立北特別支援学校の放課後対策事業の継続、充実

*夢トピアでの「いきいき教室」の充実をはかるとともに、今年度も広島県立広島特別支援学校と広島県立北特別支援学校の2校の放課後対策事業を受託し、ものづくり・音づくり・体作りの3本柱の実践を大切にして取り組みを充実させてきました。

ただ、放課後等サービス事業所の増によって両校とも昨年度よりは利用者数が減少しました。広島北特別支援学校の利用者は定員を上回りましたが、広島県立特別支援学校は定員を下回り、日によっては常勤職員だけで対応する日もありました。

⑦「夢トピア」の在宅福祉への発信基地化と地域作りを目指した取り組み

*短期入所事業、相談支援センター、ヘルパー派遣事業がフル回転し、在宅福祉の拠点としての重要な役割を果たしてきました。短期入所事業については契約者が後を絶たず、今年度は新規契約を停止せざるを得ない状況となりました。

Ⅲ. 人材育成・職員の資質の向上

①「もみじ福祉会のめざすもの」学習とそれに沿った実践の追求

*新入職員のガイダンスまた、初任者研修のプログラムに「めざすもの」の学習を取り入れ、今年度も新入職員研修は、カリキュラム通り実施することができました。全体学習会では情勢学習や全職員が順番で行っているケース報告を大切にしながら進めてきました。発達診断をもとにしたケース検討会議は、今年度高橋実先生の助言を得ながら2ケースやることができました。

②内部研修体制の整備・充実と外部研修会の効果的な活用

*内部研修の充実を図るために、毎回の研修アンケートの提出率改善に取り組み、それをもとに、研修内容や運営の充実に努めました。

情勢や実践上の抱える課題に合った研修を行いました。日程上の都合から開催回数が減少しました。

・初任者、中堅、主任、管理者研修の創設と充実

*今年度は研究システム検討会議を開催することができず、初任者研修以外のカリキュラム化について検討することができませんでした。再度、研究システム検討会議の開催が求められています。

・障害者の特性や発達についての知識の修得

*発達診断をもとに高橋実先生の助言を受けながら2ケースの検討会議を開くことができました。

・作業行程の組織、仕事おこし、製品開発などに関する知識・技能の修得

*せんべいグループがS1サミット2014で最優秀賞を受賞し、2年連続受賞したことが、仲間、職員の大きな励みになりました。しかし、現在の製品づくりには、難解な知識や技術面での問題、仲間のより多くの工程への参加保障などの課題もあり、引き続き作業所(グループ)と仲間に相応しい自主製品づくりのあり方に注意していく必要があります。

きょうされん研修会や県・市の就労振興センターの研修に参加し、知識、技能の習得にも努めました。

・健康づくり・自立支援・生活支援・相談活動に関わる研修

*タイムリーな情勢報告や学習会の実施に心掛けました。

・福祉の制度や政策、運動についての知識・情報の学習と政策能力の形成

*地域福祉推進委員会を中心に、きょうされんや広障連、HDF等の情報提供を適宜行い、また各団体との連携を図りながら取り組んできました

・施設や法人運営に関する知識・情報・ノウハウの修得と政策能力の形成

*広島市、きょうされん、福祉協会、身障施設協議会等の研修会に参加して、できるだけ関係者への情報の提供と共有化を図りながら政策能力を高めるよう努めています。

③協力専門家の組織。

*めーぷるにおいては専門家の組織が行われ、「いきいき教室」「ものづくりゆめづくり教室」など、多くの専門家の協力によって毎回充実した取り組みが行われました。

その他、評議員会・理事会をはじめ、研究・研修・文化行事などの活動を通しての専門家との協力関係は一定の広がりをもっていますが、組織化については引き続き今後の課題となっています。

④研究・運動団体との連携を通じた研修

*きょうされんの研修会を軸にして、全障研や広障連の会議や研修等に積極的に参画しました。

⑤職員の組織集団としての質・力量の向上

*職員会議、研修等を大切にしながら、質・力量の向上に努めてきましたが、今年度残念ながら虐待問題を生じました。本件については、重大問題と捉え、詳細な実態把握、全職員の自己チェックリストの提出、総括会議での報告・討議、虐待防止委員会の開催と制裁措置など、福祉会全体で再発防止にむけて取り組んでいます。

組織の拡大が進むもみじ福祉会として、職場づくりはますます大切な課題であり、研修システムや管理運営システムの再構築をはじめ、事業拡大にふさわしい運営機構づくりを、大切な課題として引き続き研究・検討します。

VI 財政基盤の強化

①障害者総合支援法移行に伴う財政対策の検討と展望づくり

・各事業の開所日数の増、契約者の増等の方針の当面の継続と再検討

*作業所の第1・第3土曜日開所の継続や365日体制に向けての支援体制の充実などと合わせながら、引き続き検討をしていきたいと思えます。

*第3もみじ作業所の積極的な利用者増方針は残念ながら成果を得ることができず、赤字運営に対する抜本的な検討を行う中、就労移行事業の廃止を決定しました。

・適切で効率的な事業の組み立ての検討

*引き続き諸加算がとれるような経営努力をし、一定の成果を得ています。

②夢トピアの財政運営上の点検と確実な見通しづくり

・もみじヘルパーステーション夢トピアの健全かつ活発な運営

*人材難等により支援を断らざるを得ない状況は解消されず、今後の人材確保にむけては適切な給与保障を含めた仕事の魅力づくりが必要となっています。

2年連続の実地指導が行われ、今年度も中抜き指導等によって返戻事案もあり、移動支援の総時間数は前年より減少しました。重度訪問の利用者が2人増えたことによる時間増や特定事業所加算の継続等により、前年度より減収となったものの繰越金を得ることができました。

・地域交流スペースの有効活用、など

*今年度は外部利用がなく、今後の地域交流スペースの活用方法について検討が求められています。

③将来構想第4期計画に向けての財政計画づくり

*夢づくり応援団、後援会の活動が休止状態となっており、将来構想推進のためにも組織再編や活動の活性化が求められています。

④支出削減と収益増への取り組み

・支出の節減に向けての普段の点検・努力

*諸契約の見直しや機械等の買い替え期などに経費節約対策をはかりましたが、施設・設備の老朽化等により、修繕費はかなり増加しました。

・家族会、自治会、後援会との協力共同の取り組み

*今年度も作業所まつりの取り組みを家族会や地域の協力を得て実行委員会形式で行いました。

今年度も、作業所まつり、夢フェスタの収益の一部を昨年の夏広島市で生じた土砂災害や東日本震災支援に寄附させて頂きました。

・諸助成金の有効な活用

*諸助成金の申請を積極的に行いました。日本財団より資源回収2tトラックの助成を受けました。

⑤事業拡大に応える事務体制の整備

*膨大となった事務量に対し、事務体制の整備等徐々に行い改善を図っています。

V. もみじ福祉会運営組織及び職員の労働条件の整備

1. 運営組織の整備

①理事会・評議員会の一層の活性化と充実

- * 議事運営では引き続き議案の整理やわかりやすい資料提供に努めました。
- * 監査指導にて指摘を受けた欠席者対策の一つとして、評議員 27 人→22 人、理事 13 人→9 人への減員を行いました。
- * 視覚障害のある評議員への合理的配慮からも事前配布やデータ送付等の工夫と実施が求められています。

②家族会との連携強化

- * 所長が役員会や定例会へ参加し、連絡事項・情勢学習の実施をはじめ、意向の聴取や協議を行ってきました。

③管理運営会議及び各運営会議(基幹会議)の体制、任務、分掌及び連携のあり方の検討、改善

- * 管理運営会議に人事委員会を併合し毎週開催としたほか、第一・第二作業所運営組織も改編・試行しています。今後ますます事業拡大に伴う会議の整理や連携のあり方の検討が問われてくると思われます。

④管理的職員の任務と分掌の明確化

- * 浜崎理事長の逝去に伴う管理部人事の変更(理事長・第一作業所の施設長交代等)を行いました。第一作業所の体制における経過措置もあり、2015 年度は管理部の任務分掌も経過的なものとしています。

年々増え続ける事業の多様化に伴いますます管理職の任務分掌の明確化や力量アップが求められており、管理運営システムの研究や諸基本会議の定例化も含め、再構築していきます。

⑤協力専門家との連携体制の強化・充実

- * 第 1、第 2 もみじ作業所の体力作りにおけるプール指導やめーぶるにおける協力専門員以外においては拡充することはできませんでした。
- * 各事業所に於いて必要な専門家との協力をどう得るかの検討も必要になってきています。

⑥人材の確保と適性配置

- * 人材確保については、職安活用や集団面接会、大学の就職説明会等への積極的な参加など、鋭意達成に努力してきました。今年度は新卒者 2 名を含む 10 名を確保することができました(退職者 8 名)。2016 年 4 月には第五のグループホームの開設も予定しており、ホームページのリニューアルや準職員の正職化等の取り組みも含め、引き続き人材確保に向けて工夫・努力していきます。

2. 労働条件の整備

①多様化する実践及び利用者の要求に応えうる処遇の追求と、働きやすい労働条件づくりの両立についての検討継続。

- * 引き続き、管理運営会議や人事委員会にて鋭意検討を行い、以下の点について改善を図りました
 - ・ 処遇改善手当の活用による給与アップ
 - ・ 昇給、昇格の実施
 - ・ 準職員の処遇の改善、全常勤準職員の正職員化の検討

②労組も含めた、組織のあり方や労働条件についての検討。

- * 労働条件等について労組との協議を行い検討してきました。
- 特に、全常勤準職員の正職化にむけては、月 1 回の労使協議を継続し、2015 年 7 月からの実施を決め、残る課題の解決にむけて引き続き協議を進めています。

もみじ福祉会 2015 年度事業計画

【重点課題】

1. 将来構想第四期 5 力年計画(2013 年～2017 年)を推進します。

5 力年計画の課題

1) 5 つ目のグループホームづくり

- ① 2016 年 4 月開所に向けて準備を進めていきます。
- ② 人材確保に向けて取り組みます

2) グループホームの運営と体制の充実

- ① 土・日の開所(365 日開所)に向けて体制づくり
- ② つばさの移転、建て替えについて検討を行う

3) 重度身体障害のある人の日中活動の場(生活介護事業)づくり

4) 放課後等ディサービスの開所

2. 職員の確保および職員資質の向上と人材育成に取り組みます。

総合的な研修システムを引き続き検討するとともに、働きがいのある職場づくり、協力・協同できる職員集団づくりに取り組みます。

3. 拡大する事業にふさわしい健全な運営と財政見直し、および中長期的な人事構想のもてる組織作りに取り組みます。

4. 高齢化に伴う課題をより明確にしつつ、取り組みを進めます。

5. 「障害のある人が安心して暮らせる社会づくり」にむけて引き続き、他機関と連携しながら運動・実践を大切に取り組みます。

【もみじ福祉社会のめざすものの実現に向けて】

I. 利用者の生きる力の獲得、生活の質の向上にむけて

1. 豊かな労働・日中活動づくり

- ①利用者の障害や発達段階に見合った作業種目・作業行程および活動内容の研究開発
- ②賃金アップをめざし、また、働くことの意味や本人のがんばりが反映できるような適切な工賃体系の研究
- ③看護師や理学療法士と連携した利用者の健康推進、及び重度障害を抱える利用者の二次障害予防のための研究・実践
- ④自立心や自立意識を育てていく立場に立った自治会活動の充実
- ⑤社会経験を広げていく場として、また、レクレーションの場としての各種行事の実施
- ⑥文化活動・クラブ活動の定着・充実
- ⑦地域の要求と連携しつつ、新たな日中活動の場づくりの取り組み。

2. 豊かな生活・暮らしの場づくり

- ①「合築ホーム夢トピア」の運営の安定と支援の充実
- ②「グループホームたんぼぼ」・「グループホームつばさ」の移転の検討、運営の安定と支援の充実
- ③「グループホームドリームハウス」の運営の安定と支援の充実
- ④「もみじヘルパーステーション夢トピア」、「障害者生活支援センターめーぷる」による生活支援の充実
- ⑤「もみじの家」の有効活用
- ⑥第五のグループホームの建設成功と運営準備。特に職員の確保。

II. 地域に根ざし、地域の障害者・関係者の福祉的ニーズに応える法人づくり

1. 地域に根ざした作業所・ホームづくり

- ①広報活動の充実
 - ・もみじ福祉社会ニュース「がんばろうや」の内容の充実ときめ組かな地域配布への取り組み
 - ・ウェブサイトのリニューアルと一層の充実
- ②もみじ福祉社会のもつ施設・設備・情報・人材の地域における福祉的ニーズへの開放、貢献
- ③地域・町内会行事等への参加や共同企画の推進
 - ・町内会諸行事への参画や依頼への対応。作業所まつり、夢フェスティバルの協同実施など

2. 地域の障害者・家族への支援と諸要求実現に向けて

- ①地域の諸団体との協力・共同の推進、関係機関への働きかけ、
- ②「障害者生活支援センターめーぷる」の障害者自立支援活動の推進
- ③「もみじヘルパーステーション夢トピア」による在宅障害者への介護サービスの拡充
- ④「短期入所事業」による在宅障害者・家族への支援の拡充
- ⑤訪問介護員養成研修事業や福祉講座等の実施による福祉人材の育成や貢献
- ⑥障害をもった児童・生徒のニーズの把握と支援体制づくり
 - ・県立広島特別支援学校、県立北特別支援学校の放課後対策事業の継続、充実
 - ・放課後等ディサービスの検討

- ⑦「夢トピア」「ドリームハウス」の在宅福祉への発信基地化と地域作りを目指した取り組み

Ⅲ. 人材育成・職員の資質の向上

- ①「もみじ福祉社会をめざすもの」学習とそれに沿った実践の追求
- ②内部研修体制の整備・充実と外部研修会の効果的な活用
 - ・ 初任者研修の充実
 - ・ 中堅、主任、管理者研修の創設と充実
 - ・ 障害者の特性や発達についての知識の修得。
 - ・ 作業行程の組織、仕事おこし、製品開発などに関する知識・技能の修得
 - ・ 健康づくり・自立支援・生活支援・相談活動・人権問題に関わる研修
 - ・ 福祉の制度や政策、運動についての知識・情報の学習と政策能力の形成
 - ・ 施設や法人運営に関する知識・情報・ノウハウの修得と政策能力の形成
- ③協力専門家の組織。
- ④研究・運動団体との連携を通しての研修
- ⑤職員の組織集団としての質・力量の向上。 虐待防止対策。

Ⅵ 財政基盤の強化

- ①障害者総合支援法における財政対策の検討と展望づくり
 - ・ 各事業の開所日数の増、契約者の増等の方針の当面の継続と再検討
 - ・ 適切で効率的な事業の組みたての検討
- ②夢トピアの財政運営上の点検と確実な見通しづくり
 - ・ もみじヘルパーステーション夢トピアの健全かつ活発な運営
 - ・ 地域交流スペースの有効活用、など
- ③めーぷるにおける相談事業の充実と安定した運営の検討
- ④将来構想第四期5ヵ年計画実施上の財政計画づくり
- ⑤支出削減と収益増への取り組み
 - ・ 支出の節減に向けての普段の点検・努力
 - ・ 家族会、自治会、後援会との協力共同の取り組み
 - ・ 諸助成金の有効な活用
- ⑥事業拡大に応えうる事務体制の整備

Ⅴ. もみじ福祉会運営組織及び職員の労働条件の整備

1. 運営組織の整備

- ①理事会・評議員会の一層の活性化と充実
- ②家族会との連携強化
- ③管理運営会議及び各運営会議(基幹会議)の体制、任務、分掌及び連携のあり方の検討、改善
- ④管理的職員の任務と分掌の明確化
- ⑤協力専門家との連携体制の強化・充実
- ⑥人材の確保と適性配置

2. 労働条件の整備

- ①多様化する実践及び利用者の要求に応えうる処遇の追求と、働きやすい労働条件づくりの両立についての検討継続。
- ②労組も含めた、組織のあり方や労働条件についての検討。
 - ・ 常勤準職員の正職化の実施と残課題の継続協議、その後の経営実態の点検と対応。

貸借対照表

平成27年 3月31日現在

第3号の1様式

(単位：円)

資 産 の 部				負 債 の 部			
	当年度末	前年度末	増 減		当年度末	前年度末	増 減
流動資産	276,811,813	391,394,965	-114,583,152	流動負債	7,486,567	6,250,161	1,236,406
預金	194,816,936	316,856,471	-122,039,535	事業未払金	2,561,301	4,837,995	-2,276,694
現金	254,340	398,772	-144,432	1年以内返済予定設備資金借入金	4,250,000		4,250,000
事業未収金	79,191,364	71,367,739	7,823,625	預り金		23,820	-23,820
商品・製品	1,446,949	1,444,649	2,300	職員預り金	615,693	1,187,433	-571,740
原材料	819,754	1,327,334	-507,580	前受金	5,233	2,141	3,092
前払費用	282,470		282,470	仮受金	54,340	198,772	-144,432
固定資産	817,144,144	690,737,247	126,406,897	固定負債	50,491,100	57,925,100	-7,434,000
基本財産	490,508,143	514,339,019	-23,830,876	設備資金借入金	34,000,000	42,500,000	-8,500,000
建物	489,508,143	513,339,019	-23,830,876	退職給付引当金	16,491,100	15,425,100	1,066,000
定期預金	1,000,000	1,000,000		負債の部合計	57,977,667	64,175,261	-6,197,594
その他の固定資産	326,636,001	176,398,228	150,237,773	純 資 産 の 部			
建物	293,175	364,433	-71,258	基本金	180,338,081	181,338,081	-1,000,000
構築物	1,947,059	2,294,151	-347,092	基本金	180,338,081	181,338,081	-1,000,000
機械及び装置	1,199,481	1,311,197	-111,716	国庫補助金等特別積立金	229,389,464	239,109,057	-9,719,593
車両運搬具	16,390,584	19,140,907	-2,750,323	国庫補助金等特別積立金	229,389,464	239,109,057	-9,719,593
器具及び備品	12,655,878	21,217,848	-8,561,970	その他の積立金	274,660,344	114,345,112	160,315,232
権利	372,008	372,008		運営資金積立金	50,000,000	13,100,000	36,900,000
ソフトウェア	110,252	173,252	-63,000	工賃変動積立金	1,985,544	1,825,112	160,432
水道施設負担金	1,146,250	1,251,250	-105,000	設備等整備積立金	2,434,800	3,180,000	-745,200
預託金	191,780	182,290	9,490	建設積立金	180,000,000	80,000,000	100,000,000
差入保証金	330,680	320,680	10,000	修繕積立金	40,000,000	16,000,000	24,000,000
退職給付引当資産	16,491,100	15,425,100	1,066,000	次期繰越活動増減差額	351,590,401	483,164,701	-131,574,300
運営資金積立資産	50,000,000	13,100,000	36,900,000	次期繰越活動増減差額 (うち当期活動増減差額)	351,590,401 27,740,932	483,164,701 15,352,925	-131,574,300 12,388,007
修繕積立資産	40,000,000	16,000,000	24,000,000	純資産の部合計	1,035,978,290	1,017,956,951	18,021,339
建設積立資産	180,000,000	80,000,000	100,000,000	負債及び純資産の部合計	1,093,955,957	1,082,132,212	11,823,745
改装等積立資産	240,000	240,000					
工賃変動積立資産	1,985,544	1,825,112	160,432				
設備等整備積立資産	2,434,800	3,180,000	-745,200				
長期前払費用	847,410		847,410				
資産の部合計	1,093,955,957	1,082,132,212	11,823,745				

資金収支計算書

(自) 平成26年 4月 1日 (至) 平成27年 3月31日

第1号の1様式

(単位: 円)

勘定科目		予算	決算	差異	
事業活動による収支	収	就労支援事業収入	43,868,196	34,681,857	-9,186,339
		障害福祉サービス等事業収入	504,565,223	501,316,839	-3,248,384
		借入金利息補助金収入	200,000	183,374	-16,626
		経常経費寄附金収入	1,415,000	1,282,298	-132,702
		受取利息配当金収入	70,505	51,877	-18,628
		その他の収入	9,341,823	7,411,308	-1,930,515
		事業活動収入計(1)	559,460,747	544,927,553	-14,533,194
	支	人件費支出	379,810,618	376,137,450	3,673,168
		事業費支出	28,973,946	24,912,801	4,061,145
		事務費支出	48,139,607	43,920,514	4,219,093
		就労支援事業支出	43,601,525	36,719,891	6,881,634
		支払利息支出	690,000	637,500	52,500
		その他の支出	6,580,118	5,629,613	950,505
事業活動支出計(2)		507,795,814	487,957,769	19,838,045	
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)		51,664,933	56,969,784	5,304,851	
施設整備等による収支	収	施設整備等補助金収入	3,287,000	3,287,000	
		施設整備等寄附金収入	350,000	241,600	-108,400
		固定資産売却収入	1		-1
		施設整備等収入計(4)	3,637,001	3,528,600	-108,401
	支	設備資金借入金元金償還支出	4,250,000	4,250,000	
		固定資産取得支出	5,110,040	5,074,530	35,510
施設整備等支出計(5)		9,360,040	9,324,530	35,510	
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)		-5,723,039	-5,795,930	-72,891	
その他の活動による収支	収	積立資産取崩収入	2,247,800	2,137,020	-110,780
		その他の活動による収入	71,714	10,000	-61,714
		その他の活動による収入計(7)	2,319,514	2,147,020	-172,494
	支	積立資産支出	164,474,082	164,385,152	88,930
		その他の活動による支出	61,714		61,714
		その他の活動支出計(8)	164,535,796	164,385,152	150,644
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)		-162,216,282	-162,238,132	-21,850	
予備費支出(10)		5,120,000	—	4,762,148	
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)		-121,036,536	-111,064,278	9,972,258	
前期末支払資金残高(12)		379,725,552	382,372,821	2,647,269	
当期末支払資金残高(11)+(12)		258,689,016	271,308,543	12,619,527	

(注) 予備費支出357852円は、第三もみじ作業所工賃変動積立資産積立額に充当使用した額である。

事業活動計算書

(自) 平成26年 4月 1日 (至) 平成27年 3月31日

第2号の1様式

(単位：円)

勘定科目		当年度決算	前年度決算	増減	
サービス活動増減の部	収	就労支援事業収益	34,681,857	40,673,474	-5,991,617
	益	障害福祉サービス等事業収益	501,316,839	469,545,425	31,771,414
		経常経費寄附金収益	1,282,298	4,304,352	-3,022,054
		サービス活動収益計(1)	537,280,994	514,523,251	22,757,743
	費	人件費	376,137,450	368,859,335	7,278,115
		事業費	24,912,801	26,829,413	-1,916,612
		事務費	43,920,514	42,391,786	1,528,728
		就労支援事業費用	37,237,591	41,051,337	-3,813,746
		減価償却費	40,903,340	42,890,629	-1,987,289
		国庫補助金等特別積立金取崩額	-21,419,895	-21,902,796	482,901
	サービス活動費用計(2)	501,691,801	500,119,704	1,572,097	
	サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	35,589,193	14,403,547	21,185,646	
サービス活動外増減の部	収	借入利息補助金収益	183,374	201,712	-18,338
	益	受取利息配当金収益	51,877	50,264	1,613
		その他のサービス活動外収益	8,593,708	8,335,272	258,436
		サービス活動外収益計(4)	8,828,959	8,587,248	241,711
	費	支払利息	637,500	701,250	-63,750
		その他のサービス活動外費用	7,878,013	7,588,627	289,386
		サービス活動外費用計(5)	8,515,513	8,289,877	225,636
		サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	313,446	297,371	16,075
		経常増減差額(7)=(3)+(6)	35,902,639	14,700,918	21,201,721
	特別増減の部	収	施設整備等補助金収益	3,287,000	407,000
益		施設整備等寄附金収益	241,600		241,600
		固定資産売却益		50,000	-50,000
		拠点区分間繰入金収益		6,500,000	-6,500,000
		サービス区分間繰入金収益		44,700,000	-44,700,000
		その他の特別収益	10,000	237,390	-227,390
		特別収益計(8)	3,538,600	51,894,390	-48,355,790
費		固定資産売却損・処分損	5	42,003	-41,998
		国庫補助金等特別積立金積立額	3,287,000		3,287,000
		拠点区分間繰入金費用		6,500,000	-6,500,000
	サービス区分間繰入金費用		44,700,000	-44,700,000	
	その他の特別損失	8,413,302	380	8,412,922	
	特別費用計(9)	11,700,307	51,242,383	-39,542,076	
	特別増減差額(10)=(8)-(9)	-8,161,707	652,007	-8,813,714	
	当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	27,740,932	15,352,925	12,388,007	
繰越活動増減差額の部		前期繰越活動増減差額(12)	483,164,701	475,433,913	7,730,788
		当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	510,905,633	490,786,838	20,118,795
		基本金取崩額(14)	1,000,000		1,000,000
		その他の積立金取崩額(15)	942,620	377,863	564,757
		その他の積立金積立額(16)	161,257,852	8,000,000	153,257,852
		次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	351,590,401	483,164,701	-131,574,300

社会福祉事業事業区分資金収支内訳表

(自)平成26年 4月 1日 (至)平成27年 3月31日

第1号の3様式

(単位:円)

勘定科目		第一・第二もみじ作業所<拠点>	第三もみじ作業所<拠点>	本部<拠点>	夢トピア<拠点>	ドリームハウス<拠点>	たんぽぽ<拠点>	障害者生活支援のたけふる<拠点>	合計	内部取引消去	事業区分合計	
事業活動による収支	収	就労支援事業収入	18,247,160	19,189,580					37,436,740	-2,754,883	34,681,857	
		障害福祉サービス等事業収入	180,333,907	50,816,391		175,626,904	46,050,438	11,626,402	476,442,839		476,442,839	
		借入金利息補助金収入				183,374			183,374		183,374	
	入	経常経費寄附金収入	44,644	20,000	1,177,754		39,900		1,282,298		1,282,298	
		受取利息配当金収入	1,827	422	45,969	2,947	428	284	51,877		51,877	
		その他の収入	4,694,513	839,570	1,848,648	816,055	155,632	172,264	8,526,682	-1,125,374	7,401,308	
		事業活動収入計(1)	203,322,051	70,865,963	3,072,371	176,629,280	46,246,398	11,798,950	523,923,810	-3,880,257	520,043,553	
	支	人件費支出	128,631,315	46,838,307		129,368,504	31,838,755	9,961,751	357,563,255		357,563,255	
		事業費支出	13,661,767	4,245,730		3,616,827	3,370,403	461,399	25,524,839	-1,588,920	23,935,919	
		事務費支出	8,852,948	2,621,826	3,776,570	14,438,905	6,044,039	1,391,446	39,687,600	-636,312	39,051,288	
出	就労支援事業支出	18,764,620	19,002,016					37,766,636	-1,046,745	36,719,891		
	支払利息支出			193,752	443,748			637,500		637,500		
	その他の支出	2,483,623	807,087	1,468,701	670,586	155,632	172,264	5,757,893	-128,280	5,629,613		
	事業活動支出計(2)	172,394,273	73,514,966	5,439,023	148,538,570	41,408,829	11,986,860	466,937,723	-3,400,257	463,537,466		
	事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	30,927,778	-2,649,003	-2,366,652	28,090,710	4,837,569	-187,910	56,986,087	-480,000	56,506,087		
施設整備等による収支	収	施設整備等補助金収入	2,880,000			407,000			3,287,000		3,287,000	
		施設整備等寄附金収入	241,600						241,600		241,600	
		施設整備等収入計(4)	3,121,600			407,000			3,528,600		3,528,600	
	支	設備資金借入金元金償還支出			1,970,000	2,280,000			4,250,000		4,250,000	
		固定資産取得支出	4,329,330	745,200					5,074,530		5,074,530	
	施設整備等支出計(5)	4,329,330	745,200	1,970,000	2,280,000			9,324,530		9,324,530		
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	-1,207,730	-745,200	-1,970,000	-1,873,000			-5,795,930		-5,795,930		
その他の活動による収支	収	積立資産取崩収入	964,020	745,200	12,000	415,800			2,137,020		2,137,020	
	入	拠点区分間繰入金収入		5,200,000	174,200,000	5,700,000		600,000	187,500,000	-187,500,000		
		その他の活動による収入			10,000				10,000		10,000	
		その他の活動による収入計(7)	964,020	5,945,200	174,222,000	6,115,800		600,000	189,647,020	-187,500,000	2,147,020	
	支	積立資産支出	1,035,958	783,046	160,953,644	1,304,752	276,108		31,644	164,385,152		164,385,152
		拠点区分間繰入金支出	94,200,000		13,300,000	80,000,000			187,500,000	-187,500,000		
		その他の活動支出計(8)	95,235,958	783,046	174,253,644	81,304,752	276,108		31,644	351,885,152	-187,500,000	164,385,152
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	-94,271,938	5,162,154	-31,644	-75,188,952	-276,108	600,000	1,768,356	-162,238,132		-162,238,132	
	当期資金収支差額合計(10)=(3)+(6)+(9)	-64,551,890	1,767,951	-4,368,296	-48,971,242	4,561,461	412,090	101,951	-111,047,975	-480,000	-111,527,975	
	前期末支払資金残高(11)	164,117,804	9,189,211	28,963,167	137,534,853	16,898,644	19,677,524	3,878,305	380,259,508		380,259,508	
	当期末支払資金残高(10)+(11)	99,565,914	10,957,162	24,594,871	88,563,611	21,460,105	20,089,614	3,980,256	269,211,533	-480,000	268,731,533	

公益事業事業区分資金収支内訳表

(自) 平成26年 4月 1日 (至) 平成27年 3月31日

第1号の3様式
(単位: 円)

勘定科目		放課後対策事業<拠点>	知的障害者自立訓練事業<拠点>	養成講座事業<拠点>	合計	内部取引消去	事業区分合計
事業活動による収支	収入						
	障害福祉サービス等事業収入	24,834,000		40,000	24,874,000		24,874,000
	その他の収入	10,000			10,000		10,000
	事業活動収入計(1)	24,844,000		40,000	24,884,000		24,884,000
	支出						
	人件費支出	18,562,195		12,000	18,574,195		18,574,195
	事業費支出	963,922		12,960	976,882		976,882
	事務費支出	5,344,307		4,919	5,349,226	-480,000	4,869,226
	事業活動支出計(2)	24,870,424		29,879	24,900,303	-480,000	24,420,303
	事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	-26,424		10,121	-16,303	480,000	463,697
施設整備等による収支	収入						
	施設整備等収入計(4)						
	支出						
施設整備等支出計(5)							
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)							
その他の活動による収支	収入						
	その他の活動による収入計(7)						
	支出						
その他の活動支出計(8)							
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)							
当期資金収支差額合計(10)=(3)+(6)+(9)	-26,424		10,121	-16,303	480,000	463,697	
前期末支払資金残高(11)	1,047,164		1,066,149	2,113,313		2,113,313	
当期末支払資金残高(10)+(11)	1,020,740		1,076,270	2,097,010	480,000	2,577,010	

社会福祉事業事業区分事業活動内訳表

(自) 平成26年 4月 1日 (至) 平成27年 3月31日

第2号の3様式

(単位: 円)

勘定科目		第一・第二もみじ作業所<拠点>	第三もみじ作業所<拠点>	本部<拠点>	夢トピア<拠点>	ドリームハウス<拠点>	たんぼぼ<拠点>	障害者生活支援センター<拠点>	合計	内部取引消去	事業区分合計	
サービス活動増減の部	収	就労支援事業収益	18,247,160	19,189,580					37,436,740	-2,754,883	34,681,857	
	益	障害福祉サービス等事業収益	180,333,907	50,816,391		175,626,904	46,050,438	11,626,402	11,988,797	476,442,839		476,442,839
		経常経費寄附金収益	44,644	20,000	1,177,754		39,900			1,282,298		1,282,298
		サービス活動収益計(1)	198,625,711	70,025,971	1,177,754	175,626,904	46,090,338	11,626,402	11,988,797	515,161,877	-2,754,883	512,406,994
	費	人件費	128,631,315	46,838,307		129,368,504	31,838,755	9,961,751	10,924,623	357,563,255		357,563,255
		事業費	13,661,767	4,245,730		3,616,827	3,370,403	461,399	168,713	25,524,839	-1,588,920	23,935,919
		事務費	8,852,948	2,621,826	3,776,570	14,438,905	6,044,039	1,391,446	2,561,866	39,687,600	-636,312	39,051,288
		就労支援事業費用	18,993,193	19,291,143						38,284,336	-1,046,745	37,237,591
		減価償却費	12,329,924	13,532,755	2,213,146	7,538,774	5,274,461		14,280	40,903,340		40,903,340
		国庫補助金等特別積立金取崩額	-6,929,171	-9,935,993		-2,632,559	-1,907,892		-14,280	-21,419,895		-21,419,895
サービス活動費用計(2)	175,539,976	76,593,768	5,989,716	152,330,451	44,619,766	11,814,596	13,655,202	480,543,475	-3,271,977	477,271,498		
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	23,085,735	-6,567,797	-4,811,962	23,296,453	1,470,572	-188,194	-1,666,405	34,618,402	517,094	35,135,496		
サービス活動外増減の部	収	借入金利息補助金収益				183,374			183,374		183,374	
	益	受取利息配当金収益	1,827	422	45,969	2,947	428	284	51,877			51,877
		その他のサービス活動外収益	5,461,113	839,570	1,848,648	1,231,855	155,632	172,264	9,709,082	-1,125,374	8,583,708	
		サービス活動外収益計(4)	5,462,940	839,992	1,894,617	1,418,176	156,060	172,548	9,944,333	-1,125,374	8,818,959	
	費	支払利息			193,752	443,748			637,500			637,500
		その他のサービス活動外費用	3,361,423	1,126,087	1,468,701	1,722,186	155,632	172,264	8,006,293	-128,280	7,878,013	
サービス活動外費用計(5)	3,361,423	1,126,087	1,662,453	2,165,934	155,632	172,264	8,643,793	-128,280	8,515,513			
サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	2,101,517	-286,095	232,164	-747,758	428	284	1,300,540	-997,094	303,446			
経常増減差額(7)=(3)+(6)	25,187,252	-6,853,892	-4,579,798	22,548,695	1,471,000	-187,910	-1,666,405	35,918,942	-480,000	35,438,942		
特別増減の部	収	施設整備等補助金収益	2,880,000			407,000			3,287,000		3,287,000	
	益	施設整備等寄附金収益	241,600						241,600		241,600	
		拠点区分間繰入金収益		5,200,000	174,200,000	5,700,000		600,000	1,800,000	187,500,000	-187,500,000	
		その他の特別収益			10,000				10,000		10,000	
		特別収益計(8)	3,121,600	5,200,000	174,210,000	6,107,000		600,000	1,800,000	191,038,600	-187,500,000	3,538,600
	費	固定資産売却損・処分損	5						5		5	
		国庫補助金等特別積立金積立額	2,880,000			407,000			3,287,000		3,287,000	
		拠点区分間繰入金費用	94,200,000		13,300,000	80,000,000			187,500,000	-187,500,000		
		その他の特別損失	3,574,950	25		4,838,327			8,413,302		8,413,302	
	特別費用計(9)	100,654,955	25	13,300,000	85,245,327			199,200,307	-187,500,000	11,700,307		
特別増減差額(10)=(8)-(9)	-97,533,355	5,199,975	160,910,000	-79,138,327		600,000	1,800,000	-8,161,707		-8,161,707		
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	-72,346,103	-1,653,917	156,330,202	-56,589,632	1,471,000	412,090	133,595	27,757,235	-480,000	27,277,235		
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額(12)	192,116,513	50,504,366	35,069,992	151,932,657	27,872,024	19,677,528	3,878,308	481,051,388		481,051,388	
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	119,770,410	48,850,449	191,400,194	95,343,025	29,343,024	20,089,618	4,011,903	508,808,623	-480,000	508,328,623	
	基本金取崩額(14)			1,000,000					1,000,000		1,000,000	
	その他の積立金取崩額(15)	197,420	745,200						942,620		942,620	
	その他の積立金積立額(16)		357,852	160,900,000					161,257,852		161,257,852	
	次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	119,967,830	49,237,797	31,500,194	95,343,025	29,343,024	20,089,618	4,011,903	349,493,391	-480,000	349,013,391	

公益事業事業区分事業活動内訳表

(自) 平成26年 4月 1日 (至) 平成27年 3月31日

第2号の3様式
(単位:円)

勘定科目		放課後対策事業<拠点>	知的障害者自立訓練事業<拠点>	養成講座事業<拠点>	合計	内部取引消去	事業区分合計	
サービス活動増減の部	収益	障害福祉サービス等事業収益	24,834,000		40,000	24,874,000	24,874,000	
		サービス活動収益計(1)	24,834,000		40,000	24,874,000	24,874,000	
	費用	人件費	18,562,195		12,000	18,574,195		18,574,195
		事業費	963,922		12,960	976,882		976,882
		事務費	5,344,307		4,919	5,349,226	-480,000	4,869,226
	サービス活動費用計(2)	24,870,424		29,879	24,900,303	-480,000	24,420,303	
	サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	-36,424		10,121	-26,303	480,000	453,697	
サービス活動外増減の部	収益	その他のサービス活動外収益	10,000			10,000	10,000	
		サービス活動外収益計(4)	10,000			10,000	10,000	
	費用							
		サービス活動外費用計(5)						
	サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	10,000			10,000		10,000	
	経常増減差額(7)=(3)+(6)	-26,424		10,121	-16,303	480,000	463,697	
特別増減の部	収益							
		特別収益計(8)						
	費用							
		特別費用計(9)						
	特別増減差額(10)=(8)-(9)							
	当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	-26,424		10,121	-16,303	480,000	463,697	
繰越活動増減差額の部		前期繰越活動増減差額(12)	1,047,164		1,066,149	2,113,313	2,113,313	
		当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	1,020,740		1,076,270	2,097,010	2,577,010	
		基本金取崩額(14)						
		その他の積立金取崩額(15)						
		その他の積立金積立額(16)						
		次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	1,020,740		1,076,270	2,097,010	480,000	2,577,010

社会福祉事業事業区分貸借対照表内訳表

平成27年 3月31日現在

第3号の3様式

(単位:円)

勘定科目	第一・第二もみじ作業所(拠点)	第三もみじ作業所(拠点)	本部(拠点)	夢トピア(拠点)	ドリームハウス(拠点)	たんぽぽ(拠点)	障害者生活支援のたもみ(拠点)	合計	内部取引消去	事業区分合計
流動資産	102,588,692	12,729,582	25,264,904	88,563,611	21,460,105	20,089,614	3,980,256	274,676,764	-480,000	274,196,764
預金	68,997,148	3,642,737	25,188,216	59,729,694	14,035,084	17,956,740	3,132,268	192,681,887		192,681,887
現金	100,000	100,000	54,340					254,340		254,340
事業未収金	31,894,995	8,231,737	11,800	28,749,533	7,332,985	2,132,874	837,440	79,191,364		79,191,364
商品・製品	1,220,150	226,799						1,446,949		1,446,949
原材料	326,843	492,911						819,754		819,754
前払費用	49,556	35,398	10,548	84,384	92,036		10,548	282,470		282,470
その他の流動資産									-480,000	-480,000
固定資産	127,105,889	119,428,487	316,057,418	146,089,254	108,306,495	4	156,597	817,144,144		817,144,144
基本財産	97,843,617	102,782,665	45,323,081	136,610,549	107,948,231			490,508,143		490,508,143
建物	97,843,617	102,782,665	44,323,081	136,610,549	107,948,231			489,508,143		489,508,143
定期預金			1,000,000					1,000,000		1,000,000
その他の固定資産	29,262,272	16,645,822	270,734,337	9,478,705	358,264	4	156,597	326,636,001		326,636,001
建物	129,124				39,100		124,951	293,175		293,175
構築物	1,268,134	678,925						1,947,059		1,947,059
機械及び装置	1,199,481							1,199,481		1,199,481
車輛運搬具	12,913,235	1,520,999		1,956,350				16,390,584		16,390,584
器具及び備品	3,344,977	9,260,072	5	7,762	43,056	4	2	12,655,878		12,655,878
権利			372,008					372,008		372,008
ソフトウェア	1	110,250		1				110,252		110,252
水道施設負担金		1,146,250						1,146,250		1,146,250
預託金	135,560	32,480		23,740				191,780		191,780
差入保証金			330,680					330,680		330,680
退職給付引当資産	7,425,400	2,068,000		6,997,700				16,491,100		16,491,100
運営資金積立資産			50,000,000					50,000,000		50,000,000
修繕積立資産			40,000,000					40,000,000		40,000,000
建設積立資産			180,000,000					180,000,000		180,000,000
改装等積立資産				240,000				240,000		240,000
工賃変動積立資産	1,197,692	787,852						1,985,544		1,985,544
設備等整備積立資産	1,500,000	934,800						2,434,800		2,434,800
長期前払費用	148,668	106,194	31,644	253,152	276,108		31,644	847,410		847,410
資産の部合計	229,694,581	132,158,069	341,322,322	234,652,865	129,766,600	20,089,618	4,136,853	1,091,820,908	-480,000	1,091,340,908
流動負債	1,475,785	1,052,710	2,640,033	2,280,000				7,448,528		7,448,528
事業未払金	1,470,552	1,052,710						2,523,262		2,523,262
1年以内返済予定設備資金借入金			1,970,000	2,280,000				4,250,000		4,250,000
職員預り金			615,693					615,693		615,693
前受金	5,233							5,233		5,233
仮受金			54,340					54,340		54,340
固定負債	7,425,400	2,068,000	15,760,000	25,237,700				50,491,100		50,491,100
設備資金借入金			15,760,000	18,240,000				34,000,000		34,000,000
退職給付引当金	7,425,400	2,068,000		6,997,700				16,491,100		16,491,100
負債の部合計	8,901,185	3,120,710	18,400,033	27,517,700				57,939,628		57,939,628
基本金	29,676,440		21,422,095	69,711,006	59,528,540			180,338,081		180,338,081
基本金	29,676,440		21,422,095	69,711,006	59,528,540			180,338,081		180,338,081
国庫補助金等特別積立金	68,451,434	78,076,910		41,841,134	40,895,036		124,950	229,389,464		229,389,464
国庫補助金等特別積立金	68,451,434	78,076,910		41,841,134	40,895,036		124,950	229,389,464		229,389,464
その他の積立金	2,697,692	1,722,652	270,000,000	240,000				274,660,344		274,660,344
運営資金積立金			50,000,000					50,000,000		50,000,000
工賃変動積立金	1,197,692	787,852						1,985,544		1,985,544

社会福祉事業事業区分貸借対照表内訳表

平成27年 3月31日現在

第3号の3様式

(単位:円)

勘定科目	第一・第二もみじ作業所<拠点>	第三もみじ作業所<拠点>	本部<拠点>	夢トピア<拠点>	ドリームハウス<拠点>	たんぼぼ<拠点>	障害者生活支援のたけふら<拠点>	合計	内部取引消去	事業区分合計
設備等整備積立金	1,500,000	934,800						2,434,800		2,434,800
建設積立金			180,000,000					180,000,000		180,000,000
修繕積立金			40,000,000					40,000,000		40,000,000
改装等積立金				240,000				240,000		240,000
次期繰越活動増減差額	119,967,830	49,237,797	31,500,194	95,343,025	29,343,024	20,089,618	4,011,903	349,493,391	-480,000	349,013,391
次期繰越活動増減差額	119,967,830	49,237,797	31,500,194	95,343,025	29,343,024	20,089,618	4,011,903	349,493,391	-480,000	349,013,391
(うち当期活動増減差額)	-72,346,103	-1,653,917	156,330,202	-56,589,632	1,471,000	412,090	133,595	27,757,235	-480,000	27,277,235
純資産の部合計	220,793,396	129,037,359	322,922,289	207,135,165	129,766,600	20,089,618	4,136,853	1,033,881,280	-480,000	1,033,401,280
負債及び純資産の部合計	229,694,581	132,158,069	341,322,322	234,652,865	129,766,600	20,089,618	4,136,853	1,091,820,908	-480,000	1,091,340,908

公益事業事業区分貸借対照表内訳表

平成27年 3月31日現在

第3号の3様式
(単位:円)

勘定科目	放課後対策事業<拠点>	知的障害者自立訓練事業<拠点>	養成講座事業<拠点>	合計	内部取引消去	事業区分合計
流動資産	1,058,779		1,076,270	2,135,049	480,000	2,615,049
預金	1,058,779		1,076,270	2,135,049		2,135,049
その他の流動資産					480,000	480,000
資産の部合計	1,058,779		1,076,270	2,135,049	480,000	2,615,049
流動負債	38,039			38,039		38,039
事業未払金	38,039			38,039		38,039
負債の部合計	38,039			38,039		38,039
次期繰越活動増減差額	1,020,740		1,076,270	2,097,010	480,000	2,577,010
次期繰越活動増減差額	1,020,740		1,076,270	2,097,010	480,000	2,577,010
(うち当期活動増減差額)	-26,424		10,121	-16,303	480,000	463,697
純資産の部合計	1,020,740		1,076,270	2,097,010	480,000	2,577,010
負債及び純資産の部合計	1,058,779		1,076,270	2,135,049	480,000	2,615,049

財 産 目 録

平成27年 3月31日 現在

(単位：円)

資 産 ・ 負 債 の 内 訳	金 額
I 資産の部	
1. 流動資産	
預金	もみじ銀行吉島支店 163,867,558 広島銀行吉島支店 65,138 ゆうちょ銀行 30,884,240
現金	現金手許有高・小口現金 254,340
事業未収金	自立支援給付費、利用者利用料等 79,191,364
商品・製品	就労グループ センべい、クッキー等 1,446,949
原材料	就労グループ さをり、パン等 819,754
前払費用	火災保険料 282,470
流動資産合計	276,811,813
2. 固定資産	
(1) 基本財産	
建物	489,508,143
(第一・第二もみじ作業所)	所在地：広島市中区吉島西2-1-24 1098.89㎡ 家屋番号：705番73 種類：鉄筋コンクリート造 3階建
(第三もみじ作業所)	所在地：広島市西区観音新町3-9-3 532.66㎡ 家屋番号：2760番113 種類：鉄骨造陸屋根 3階建
(夢トピア)	所在地：広島市西区観音新町3-9-9 1512.94㎡ 家屋番号：2760番110 種類：鉄筋コンクリート造 4階建
(ドリームハウス)	所在地：広島市西区観音新町3-9-1 1176.28㎡ 家屋番号：2760番114 種類：鉄骨造スレートぶき 2階建
定期預金	もみじ銀行吉島支店 1,000,000
基本財産合計	490,508,143
(2) その他の固定資産	
建物	倉庫等 293,175
構築物	緑化設備、舗装工事等 1,947,059
機械及び装置	アルミ缶潰し機、車載無線機等 1,199,481
車輛運搬具	広島200さ1250シビリアン 広島400な3544トヨエース 広島800す4854ハイエース 広島301て5124キャラバン 広島800す5677シビリアン 広島800す7384キャラバン 広島800す2022キャラバン 広島480き1785スクラム 広島480こ5198スクラム 広島480け8301スクラム 広島480け8300スクラム 広島301と355プレマシー 広島88あ325サンバー 広島800す7477セレナ 西区ひ33350デュオ 西区ひ33351デュオ 電動自転車
器具及び備品	厨房器具、就労生産設備等 12,655,878
権利	電話加入権 372,008
ソフトウェア	会計ソフト等 110,252
水道施設負担金	第三もみじ作業所 1,146,250
預託金	車輛リサイクル券 191,780
差入保証金	貸貸事務所保証金等 330,680
退職給付引当資産	広島県互助会退職手当資金交付事業 16,491,100
運営資金積立資産	もみじ銀行吉島支店定期預金・普通預金 50,000,000
修繕積立資産	もみじ銀行吉島支店定期預金・普通預金 40,000,000
建設積立資産	もみじ銀行吉島支店定期預金・普通預金 180,000,000
改装等積立資産	もみじ銀行吉島支店定期預金 240,000
工賃変動積立資産	もみじ銀行吉島支店定期預金・普通預金 1,985,544
設備等整備積立資産	もみじ銀行吉島支店定期預金 2,434,800
長期前払費用	火災保険 847,410
その他の固定資産合計	326,636,001
固定資産合計	817,144,144
資産合計	1,093,955,957
II 負債の部	
1. 流動負債	
事業未払金	3月分利用者工賃等 2,561,301
1年以内返済予定設備資金借入金	独)福祉医療機構 4,250,000
職員預り金	3月給与分 615,693
前受金	次期就労売上分 5,233
仮受金	現金出納分 54,340
流動負債合計	7,486,567
2. 固定負債	
設備資金借入金	独)福祉医療機構 平成15年8500万の内 34,000,000
退職給付引当金	広島県互助会退職手当資金交付事業 16,491,100
固定負債合計	50,491,100
負債合計	57,977,667
差引純資産	1,035,978,290

社会福祉法人現況報告書

平成 27 年4月1日現在

I 基本情報

所轄庁	市											
法人名	社会福祉法人もみじ福祉会		主たる事務所の所在地	〒 730 - 0823 広島市中区吉島西2-1-24		電話番号	082 - 243 - 0331		FAX番号	082 - 243 - 0497		
ホームページアドレス	http://www.fukushi-momiji.or.jp		メールアドレス	info@fukushi-momiji.or.jp		設立認可年月日	平成4年7月17日			設立登記年月日	平成4年7月22日	
代表者	氏名	年齢	住所		職業	就任年月日						
	井上 一成	非公表	非公表		理事長	平成26年12月17日						

II 事業

社会福祉事業	種類	施設名・事業所名	公表/非公表	所在地	事業開始年月日	定員	実施形態	
							各分野の事業が同一施設(敷地)で実施	全ての事業が同一施設(敷地)で実施
児童福祉	第一種							
	第二種							
老人福祉	第一種							
	第二種							
障害者	第一種							
		障害福祉サービス事業	第一もみじ作業所(生活介護)	公表	広島市中区吉島西2丁目1-24	平成5年4月1日	40	
		障害福祉サービス事業	第二もみじ作業所(生活介護)	公表	広島市中区吉島西2丁目1-24	平成5年4月1日	20	
		障害福祉サービス事業	グループホームたんぽぽ(共同生活援助)	非公表		平成18年10月1日	4	
		特定相談支援事業	障害者生活支援センターめーぶる(相談支援事業)	公表	広島市西区観音新町3丁目9-9	平成18年10月1日		
		一般相談支援事業	障害者生活支援センターめーぶる(一般相談事業)	公表	広島市西区観音新町3丁目9-9	平成25年4月1日		
		障害福祉サービス事業	グループホーム夢(共同生活援助)	公表	広島市西区観音新町3丁目9-9	平成18年10月1日	11	
	障害福祉サービス事業	福祉ホーム夢トピア短期入所事業(短期入所)	公表	広島市西区観音新町3丁目9-9	平成18年10月1日	3		

福祉 第一種	福祉ホーム	福祉ホーム夢トピア(福祉ホーム)	公表	広島市西区観音新町3丁目9-9	平成18年10月1日	10	
	障害福祉サービス事業	もみじヘルパーステーション夢トピア(居宅介護)	公表	広島市西区観音新町3丁目9-9	平成18年10月1日		
	障害福祉サービス事業	もみじヘルパーステーション夢トピア(重度訪問介護)	公表	広島市西区観音新町3丁目9-9	平成18年10月1日		
	移動支援事業	もみじヘルパーステーション夢トピア(移動支援)	公表	広島市西区観音新町3丁目9-9	平成18年10月1日		
	障害福祉サービス事業	グループホームドリームハウスⅠ番館(共同生活援助)	公表	広島市西区観音新町3丁目9-1	平成21年6月1日	9	
	障害福祉サービス事業	グループホームドリームハウスⅡ番館(共同生活援助)	公表	広島市西区観音新町3丁目9-1	平成21年6月1日	9	
	障害福祉サービス事業	ドリームハウス短期入所事業(短期入所)	公表	広島市西区観音新町3丁目9-1	平成21年6月1日	1	
	障害福祉サービス事業	第三もみじ作業所(就労移行支援)	公表	広島市西区観音新町3丁目9-3	平成23年4月1日	6	
	障害福祉サービス事業	第三もみじ作業所(就労継続支援B型)	公表	広島市西区観音新町3丁目9-3	平成23年4月1日	19	
	その他						

種類(番号を記載)	施設名・事業所名	所在地	事業開始年月日	事業規模(定員)
9	訪問介護員養成研修事業	広島市西区観音新町3丁目9-9	平成15年10月18日	
1	知的障害者生活自立訓練事業(広島市委託事業)	広島市西区古江新町12-12	平成9年4月1日	18人
1	特別支援学校放課後対策事業及びいきいき活動事業(広島市委託事業)	広島市安佐北区亀山2-24-1	平成18年11月13日	20人/日

- 1 必要な者に対し、相談、情報提供・助言、行政や福祉・保健・医療サービス事業者等との連絡調整を行う等の事業
- 2 必要な者に対し、入浴、排せつ、食事、外出時の移動、コミュニケーション、スポーツ・文化的活動、就労、住環境の調整等を支援する事業
- 3 入浴等の支援が必要な者、独力では住居の確保が困難な者等に対し、住居を提供又は確保する事業
- 4 日常生活を営むのに支障がある状態の軽減又は悪化の防止に関する事業
- 5 入所施設からの退院・退所を支援する事業
- 6 子育て支援に関する事業
- 7 福祉用具その他の用具又は機器及び住環境に関する情報の収集・整理・提供に関する事業
- 8 ボランティアの育成に関する事業
- 9 社会福祉の増進に資する人材の育成・確保に関する事業(社会福祉士・介護福祉士・精神保健福祉士・保育士・コミュニケーション支援者等の養成事業等)
- 10 社会福祉に関する調査研究等
- 11 事業規模要件を満たさないために社会福祉事業に含まれない事業
- 12 介護保険法の居宅サービス事業、地域密着型サービス事業、介護予防サービス事業、地域密着型介護予防サービス事業、居宅介護支援事業、介護予防支援事業、介護老人保健施設地域支援事業を市町村から受託する事業
- 13 有料老人ホーム
- 14 社会福祉協議会等において、社会福祉協議会活動等に参加する者の福利厚生を図ることを目的として、宿泊所、保養所、食堂等を経営する事業
- 15 公益的事業を行う団体に事務所等として無償又は実費に近い対価で使用させるために会館等を経営する事業
- 16 その他 ()

評議員	伊世 澄子	家族会	H25.12.17 ~ H27.12.16															5
	中沢 道成	施設長	H25.12.17 ~ H27.12.16										○				○	5
	古城門 淳子	施設長	H25.12.17 ~ H27.12.16										○				○	5
	葛城 妙子	相談員	H26.5.27 ~ H27.12.16									○					○	4
	福田 康彦	医師/家族会	H26.12.17 ~ H27.12.16											○			○	1
	谷保 清美	地域社協役員	H25.12.17 ~ H27.12.16									○						4
	塩見 信彦	後援会	H25.12.17 ~ H27.12.16														○	3
	原田 明	障害者団体役員	H25.12.17 ~ H27.12.16														○	4
	小林 雅道	会社員	H25.12.17 ~ H27.12.16														○	5
	吉村 恵美子	地域女性会	H25.12.17 ~ H27.12.16															3
	月村 桂子	地域女性会	H25.12.17 ~ H27.12.16											○				1
	野津 訓子	団体職員	H25.12.17 ~ H27.12.16										○					5
	久保 正道	NPO法人役員	H25.12.17 ~ H27.12.16										○					0
	竹本 みゆき	病院職員	H25.12.17 ~ H27.12.16										○					4
	渡 常男	団体役員	H25.12.17 ~ H27.12.16														○	4
	鈴川 千賀子	地域社協役員	H25.12.17 ~ H27.12.16										○					3
松田 泰	社会福祉法人役員	H25.12.17 ~ H27.12.16										○					2	
高田 龍治	音楽家	H25.12.17 ~ H27.12.16														○	3	

施設長	施設名	氏名	就任年月日	法令等に定める資格の有無
	第一もみじ作業所	古川大介	平成27年4月1日	有
第二もみじ作業所	中沢 道成	平成15年4月1日	有	
第三もみじ作業所	井上 佳代子	平成23年4月1日	有	
グループホームたんぽぽ	井上一成	平成18年10月1日	有	
グループホーム夢	井上一成	平成18年10月1日	有	
グループホームトリームハウス	井上一成	平成21年6月1日	有	
障害者生活支援センターめーぶる	井上一成	平成26年12月17日	有	
もみじヘルパーステーション夢ピア	古城門 淳子	平成18年10月1日	有	

職員	常勤専従	常勤兼務		非常勤	
		換算数	換算数	換算数	換算数
法人本部	0	0	0	0	0
施設	19	59	59	66	20

理事会	開催年月日	出席者数	書面出席者数	監事出席の有無	決議事項
	平成26年5月26日	10	0	有	1.平成25年度事業報告 2.平成25年度積立金積立・補正予算 3.平成25年度決算報告 4.平成25年度監査報告 5.理事評議員後任選出 6.第5のホーム計画変更について 7.就業規則給与規程の改定 8.第三もみじ作業所利用者工賃規定改訂 9.昇給昇格の実施、一時金の特別措置について 10.福祉医療機構退職共済加入について 11.寄附金報告 12.資源回収車入札について 13.理事評議員の後任選出
	平成26年10月27日	10	0	有	1.上半期運営状況 2.平成26年度一次補正予算 3.第5のホーム計画について 4.理事評議員の定数改定 5.就業規則の改定 6.給与システムの改編について 7.寄附金報告
平成26年12月4日	10	0	有	1.理事監事の改選について 2.評議員の後任選出 3.給与システムの改編について	

	平成26年12月15日	11	0	有	1.給与規程改訂 2.借入金償還に係わる寄付贈与契約の免除について 3.次期管理運営体制について 4.寄附金報告 5.実地指導結果・報告 6.基幹相談支援センター受託について
	平成26年12月17日	8	0	有	1.理事長互選について 2.常務理事委嘱、第二代理者の指名について
	平成27年3月23日	7	0	有	1.経理規程改訂 2.平成26年度積立金積立・取崩・補正予算 3.平成27年度当初予算 4.給与規程改訂 5.固定資産の廃棄 6.寄附金報告 7.監査指導、実地指導結果・報告
評議員会	開催年月日	出席者数	監事出席の有無	決議事項	
	平成26年5月26日	18	有	1.平成25年度事業報告 2.平成25年度積立金積立・補正予算 3.平成25年度決算報告 4.平成25年度監査報告 5.理事評議員後任選出 6.第5のホーム計画変更について 7.就業規則給与規程の改定 8.第三もみじ作業所利用者工賃規定改訂 9.昇給昇格の実施、一時金の特別措置について 10.福祉医療機構退職共済加入について 11.寄附金報告 12.資源回収車入札について 13.理事評議員の後任選出	
	平成26年10月27日	19	有	1.上半期運営状況 2.平成26年度一次補正予算 3.第5のホーム計画について 4.理事評議員の定数改定 5.就業規則の改定 6.給与システムの改編について 7.寄附金報告	
	平成26年12月4日	18	有	1.理事監事の改選について 2.評議員の後任選出 3.給与システムの改編について	
	平成26年12月15日	19	有	1.給与規程改訂 2.借入金償還に係わる寄付贈与契約の免除について 3.次期管理運営体制について 4.寄附金報告 5.実地指導結果・報告 6.基幹相談支援センター受託について	
	平成27年3月23日	16	有	1.経理規程改訂 2.平成26年度積立金積立・取崩・補正予算 3.平成27年度当初予算 4.給与規程改訂 5.固定資産の廃棄 6.寄附金報告 7.監査指導、実地指導結果・報告	
監事監査	監査年月日	監査者	監査報告の有無	指摘事項	改善事項
	平成27年5月21日	白銀 徹三	有	1.特に無し	1.広島市監査指導時の口頭指摘事項は是正されている。
	平成27年5月18日	堀田 稔	有	1.人材の確保・養成、法人運営について長期的な視点で取組んでいく事	1.広島市監査指導・実地指導における指導事項に対しては適切に改善措置がなされている。

IV 資産管理

		平成	年3月31日現在					
不動産の所有状況	所在地	面積	評価額(千円)	担保提供の状況				
				提供年月日	借入額(千円)	借入先	償還期限	所轄庁の承認の有無
基本財産	土地							
	建物							
	広島市中区吉島西2丁目1-24	1098.89	97,843					
	広島市西区観音新町3丁目9-9	1474.11	136,610	平成15年10月21日	85,000	(独)福祉医療機構	平成36年10月10日	有
	広島市西区観音新町3丁目9-1	594.58	107,948					
	広島市西区観音新町3丁目9-3	532.67	102,782					
運用財産	土地							
	建物							

監査報告書

平成 27 年 5 月 21 日

社会福祉法人もみじ福祉会
理事長 井上一成 様
(所轄庁、評議員会)

監事 白銀徹三 
監事 堀田 稔 

社会福祉法第40条並びに社会福祉法人もみじ福祉会定款第12条及び監事監査実施規定第7条に基づき、下記のとおり監査結果を報告します。

記

- | | | | |
|---|-------|----------------|---|
| 1 | 監査日 | 会計監査
業務監査 | 平成 27 年 5 月 21 日(木)
平成 27 年 5 月 18 日(月) |
| 2 | 監査の種別 | 決算監査 | |
| 3 | 監査実施者 | 会計監査
業務監査 | 白銀徹三
堀田 稔 |
| 4 | 監査の内容 | 会計監査 | <p>主要簿、補助簿の作成状況の確認、元帳等の監査指摘分の是正、会計帳票の承認印の確認、監査の日の当日の本館現金各拠点分の小口現金の金銭残高金種別表、通帳証書と銀行印が異なる責任者の下で管理と同等原本確認の監査、その他チェックリストの通り監査した。</p> <p>.....</p> <p>業務監査</p> <p>チェックリストを基に平成25年度事業計画書と平成26年度事業報告書(案)を比較し、内容に照らし合わせ、法人運営状況等について監査した。</p> <p>.....</p> |
| 5 | 監査意見 | 会計監査 | <p>当時は新会計基準移行の期である平成26年度であるが、会計帳簿は各拠点区分ごとに、仕訳日付帳及び総勘定元帳、補助簿等を作成し備え置かれており、会計組織が対応している。</p> <p>.....</p> <p>業務監査</p> <p>懸案であったら目のグループホーム建設、職員の正職化等、将来構想委員会での計画が着実に具体化しており、適正に運営されている。人材の確保、養成、法人運営等について、各拠点の状況と取り組むことが求められる。</p> |
| 6 | 添付資料 | 監事監査チェックリストの写し | |

(注) 社会福祉法第59条の規定に基づき毎年度6月末までに所轄庁に提出する社会福祉法人現況報告書に、理事長あての監査報告書の写し及び監事監査チェックリストの写しを添付している場合は、所轄庁あての報告は省略して差し支えない。

別表

事項	監事意見	
法人の組織運営状況 (規定、役員・理事会・評議員会)	適正である	
法人の組織運営状況 (人事、労務管理)	適正である	
事業(活動)状況、施設・事業の運営管理状況	各事業ごとに総括が行われており 適正である。	
福祉サービスの質の向上のための取り組み状況	適正である。	
法人及び事業の会計状況	会計帳簿の状況	27年3月末に新会計基準に完全適用となっているが、主要簿、補助簿、その他の帳簿の作成がすべて移行されており適正である。
	予算の編成状況	拠点区分ごとに月次試算表等を活用し、適正に管理されている等適正である。
	出納・財務の状況	出納取扱は毎日の現金出納終了後残高確認を行っており適正である。又各月の拠点区分ごとの月次試算表も作成されている等適正である。
	契約状況(契約方法、入札方法)	当事業年度の契約は1件であるが、経理規程に定められた法に準行われており適正である。
	資産の管理状況	通帳、証書と銀行印が異なる責任者の下で異なる場所に管理されている。固定資産については固定資産管理台帳に適正に記載されている等適正である。
	経理区分間及び会計単位間の資金移動状況	拠点区分間の正当な資金異動について繰入金、繰入先の双方の科目は一致している等適正である。
	決算書類の作成状況	適正である。
	法人の財務状況等	適正である。
その他		

(注) 監事意見欄は、監事監査チェックリストによる確認結果に基づき、区分ごとに「適正である」「概ね適正である」「〇〇の処理が、〇〇となっており、〇〇規定〇〇条に違反しているのは是正されたい。」(是正又は改善を要する点は具体的に記載)等の意見を記載する。